

番号	用語	登場ページ	解説
※1	フェーズ	1	段階。局面。
※2	アジェンダ	1	行動計画。特に、国際的に取り組む行動計画。
※3	持続可能な開発目標 (SDGs)	1	Sustainable Development Goalsの略。地球規模の課題に対応するため、2015年の「国連持続可能な開発サミット」で193のすべての国連加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された令和12(2030)年までの国際目標。「誰一人取り残さない」を理念とし、貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正などの17のゴールと169のターゲットが掲げられており、社会・経済・環境上のさまざまな課題への対応と解決に向け、世界各国の市民・企業・行政が協働しての取組が進んでいる。
※4	COVID-19	1	WHO(世界保健機構)が決定した新型コロナウイルス感染症の正式名称。
※5	ガイダンス	1	手引き。
※6	パンデミック	1	感染症の世界的な大流行。
※7	コミットメント	1	公約。
※8	ユニバーサルデザイン	2, 24, 25	あらかじめ、障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。
※9	心のバリアフリー	2, 21	様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと。
※10	フィルタリング	2	子どもにとって有害なインターネット上の情報へのアクセスを制限したり、有害なアプリの起動を制限するサービス。
※11	人権デューデリジェンス	2	企業の事業活動における人権侵害行為について調査、予防または対応策を講じること。デューデリジェンスは、略してDDと表すこともある(Due 当然に、Diligence 精励・努力)。
※12	ステークホルダー	3, 20, 23, 63	利害関係者。
※13	ニューカマー	45, 46	1980年代以降に、様々な目的を持って新たに来日し定住した外国人を、他の定住外国人と区別した表現。労働権の保障や安心・安全な生活の保障など、多くの課題がある。 日本による朝鮮植民地支配に、直接的、間接的に歴史的なルーツをもつ人やその子孫(オールドカマー)とは来日の背景や定住に至るまでの経緯が異なるため、抱える課題にも違いがある。
※14	SNS	15	ソーシャル・ネットワーキング・サービス。友人・知人等の社会的ネットワークをインターネット上で提供することを目的とするコミュニティ型のサービス。
※15	ジェンダー	27	「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的性別(セックス/sex)がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」(ジェンダー/gender)という。「社会的・文化的に形成された性別」は、それ自体に良い、悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われている。
※16	スクールソーシャルワーカー	30	社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、問題を抱えた児童生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭・学校・地域の関係機関をつなぎ、児童生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する福祉の専門家。

番号	用語	登場ページ	解説
※17	スクールカウンセラー	30	児童生徒に対する相談のほか、保護者及び教職員に対する相談、教職員等への研修、事件・事故などの緊急対応における被害児童生徒の心のケアなど、学校の教育相談体制を支える心理の専門家。
※18	スクールロイヤー	30	専門的知識・経験に基づき、学校において法的側面から児童生徒に対するいじめ予防教育や教職員への指導・助言を行うことにより、いじめなどの諸課題の解決に資することを目的に設置された弁護士。
※19	ヘルプマーク	37	援助や配慮を必要としている人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくなるよう、東京都で作成されたマーク。
※20	インクルーシブ	39, 40	「包括的な」とか「包み込む」というような意味で、誰も孤立したり排除されたりせずに社会の構成員として包み込み支え合う共生社会をめざす考え方。
※21	レイシャルハラスメント	45, 46	職場で行われる、特定の人種、民族、国籍に係わる、「不快」「不適切で配慮に欠ける」と感じる言動。職場には、取引先、業務の延長線での飲食の場など、仕事に関係するあらゆる場所が含まれる。
※22	ヘイトスピーチ	45, 46	特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとするなどの 一方的な内容の言動。
※23	ICT研修・情報モラル研修	51	「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略。通信技術を活用したコミュニケーションを示す。また情報モラルは情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。
※24	メディア・リテラシー	51, 52	メディアの情報を主体的に読み解く能力、メディアにアクセスし、活用する能力、メディアを通じコミュニケーションする能力の3つを構成要素とする複合的な能力のこと。
※25	リベンジポルノ	52	元交際相手の性的な写真や動画等を撮影対象者の同意なくインターネット上に公開すること。
※26	プロバイダー	52	インターネットサービスプロバイダー。インターネット接続業者。
※27	SOGI(性的指向や性自認)	57, 58	SOはセクシュアルオリエンテーション(性的指向=好きになる人の性)のことで、GIはジェンダーアイデンティティ(性自認=心の性)のこと。性自認には、男性、女性、はっきり決められない、男女のどちらでもないなども含む。SOGIは、すべての人がもち、自分の意思で選んだり変えたりできないもの。
※28	アライ	57, 58	同盟や支援を意味する英語allyが語源で、LGBTに代表される性的マイノリティを理解し支援するという考えやその考えを持つ人。
※29	ワークライフバランス	59	仕事と生活の調和。働くすべての人々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動 といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。